MANUFACTURE OF SEMICONDUCTOR DEVICE

Patent number:

JP63244622

Publication date:

1988-10-12

Inventor:

TONISHI SHIGEJI

Applicant:

NIPPON ELECTRIC CO

Classification:

- international:

G03F7/20; H01L21/30

- european:

Application number:

JP19870078065 19870330

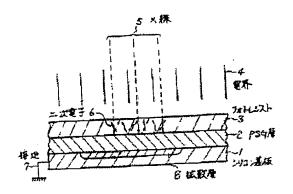
Priority number(s):

JP19870078065 19870330

Report a data error here

Abstract of JP63244622

PURPOSE:To prevent a photoresist from being cut defectively, by a method wherein an electric field is exerted in the direction perpendicular to the face of the photoresist during a photolithographic process so that a range of secondary electrons generated inside the photoresist is reduced in the horizontal direction. CONSTITUTION:During a photolithographic process to print a pattern of a semiconductor integrated circuit onto a photoresist 3 coated on a semiconductor substrate 1, an electric field is exerted in the direction perpendicular to the face of the photoresist 3; secondary electrons 6 generated inside the photoresist 3 are accelerated in the perpendicular direction; a range in the horizontal direction is made short. For example, a semiconductor substrate 1 is connected to a ground 7; an electrode plate made of beryllium which transmits X-rays is arranged in the front; an electric field 4 is exerted in the direction perpendicular to the face of a photoresist. Secondary electrons 6 are accelerated by this electric field 4 in the direction perpendicular to the silicon substrate 1; a range is reduced in the horizontal direction as an average range of the secondary electrons 6. By this setup, it is possible to prevent the photoresist 3 from being cut defectively.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

①特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-244622

ஞிந்t_Cl,⁴

識別記号 331 庁内整理番号 E - 7276-- 5 E ⊕公開 昭和63年(1988)10月12日

H 01 L 21/30 G 03 F 7/20 E-7376-5F 6906-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

会発明の名称 半導体装置の製造方法

创特 顋 昭62-78065

郵出 願 昭62(1987)3月30日

態発 明 者 遠 西 繁 治 愈出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

東京都港区芝5丁目33番1号

多代 理 人 弁理士 内 原 晋

明細書

発明の名称

半導体装置の製造方法

特許額求の範囲

半導体基板上に盛布されたフォトレジストに半 導体集積回路パターンを焼きつけるフォトリソグ ラフィー工程において、フォトレジスト面に鉛直 な方向の電界をかけることを特徴とする半導体装 置の製造方法。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

〔従来の技術〕

従来、この種のフォトリソグラフィー工程にお

いては、電光用に用いられる光波としては、電光用に用いられる光波としてはまではまた。 一般 ではまでが使用が変化などの変化を使用が変化が使用が変化がある 2 次程はパターンサ法特度に発生ができる。 2 次程はパターンはないであった。 すなおりに 関かするものが支配的であった。 すな程を制御する 2 次電子の飛程を制御する 2 次電子の飛程を制御するのであった。

[発明が解決しようとする問題点]

しかるに、半導体集積回路をより高ム積化化した、 半導体集積回路とより高ムを積化化した。 半導体基板上に形成する必要がある。ことは フォトリソグラフィーエ光にを用いてている。 対象には、より数長の短いれては解放と、 大変においては対する。 特に、というなどのである。 特に、というなどのである。 大におってはフォトのフレトル回折に、 といるではないないないないに、 生におってはないないないに、 生におってはないないないに、 生におってはないないないに、 生におっている。 をいるにはないないないに、 というないないないないないに、 というないないないないないに、 というないないないないないないない。 を使用することが効果的である。 解像ないる

特開昭 63-244622(2)

に光源を短波長にしていく程、 同時に光源のエネルギーも高くなる。 促って、これに伴いフォトレジスト中で発生する 2 次電子の飛程が長くなってくる。 2 次電子の飛程がパターン寸法精度に対けくる。 2 次電子の飛程がパターン寸法精度に対け、 無視できない程長くなれば、フォトレジストのパターンエッジの切れが悪くなり、 解像度を落とす 要因となる。

従来のフォトリソグラフィー技術ではフォトレジスト内で発生する2次電子を特に制御するこ対に行われていなかった。フォトレジスト面に対対水平方向の2次電子の飛程を抑えない服り、上よるが短くなるという弊容が存在する。特にX線電光では、フレネル回折と2次電子という相反する要因が存在する。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、半導体基板上に弦布されたフォトレジストに半導体集積回路パターンを焼きつけるフォトリソグラフィー工程において、フォトレジスト面に鉛直な方向の電界をかけることにより、

ン基板 1 1 上に形成された 徴化膜 1 7 をゲート 絶縁 膜とし、多 結晶シリコン 1 2 よりなる ゲート 電極を形成する工程において、フォトレジスト 1 3 内で X 線 1 5 によって発生する 二次電子 1 6 をフォトレジスト 1 3 に対し 鉛直方向の電界 1 4 をかけ、二次電子の飛程の水平方向成分を小さくしてフォトレジスト 1 3 の切れの悪化を防ぐものである。

なお、電界はシリコン基板側とフォトレジスト側に電極板(但し、フォトレジスト側の電極板は X 線を透過可能な材料を選ぶ)を設置して印加する。

[発明の効果]

以上説明したように本発明は、フォトリソグラフィー工程においてフォトレジスト面に鉛値な方向の電界をかけることにより、フォトレジスト内で発生する二次電子の水平方向への発程を小さくし、フォトレジストの切れの悪化を防ぐという効果がある。

フォトレジスト内で発生する2次電子を鉛直方向 に加速し、水平方向への飛程を短く抑えるように したことを特徴とする。

(実施例)

本発明についます。 では、本発明についます。 では、本発明についます。 では、本発明についます。 では、では、では、できると、では、できると、できると、できる。 では、できる。 できる。 できる。

第2図は本発明の第2の実施例である。シリコ

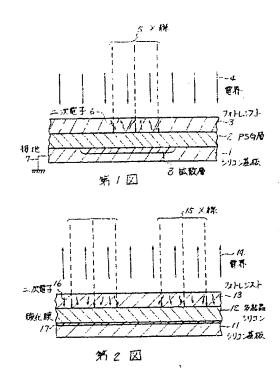
図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1の実施例を示す断面図、 第2図は本発明の第2の実施例を示す断面図である。

1 , 11 ··· シリコン基板、2 ··· P S G 層、3 , 13 ··· フォトレジスト、4 , 14 ··· 電界、5 . 15 ··· X 絵、6 , 16 ··· 2 次電子、7 ··· 接地、8 ··· 拡 散 層、12 ··· 多結晶シリコン、17 ··· 酸化 酸。

代理人 弁理士 內 原





THIS PAGE BLANK (USPTO)